



A 試合会場レポート

試合番号 011

開催日 2020/12/13

令和2年度 天皇杯・皇后杯 全日本バレーボール選手権大会 女子 ファイナルラウンド

会場： 武蔵野の森総合スポーツプラザ

観客数： 0	開始時間： 12:00	終了時間： 14:28	試合時間： 02:28	主審： 高橋 宏明	副審： 中山 健
--------	-------------	-------------	-------------	-----------	----------

JTマーヴェラス

監督：吉原 知子
コーチ：丹山 禎昭

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

3	21	第1セット 【 00:25 】	25	2
	25	第2セット 【 00:28 】	22	
	25	第3セット 【 00:32 】	27	
	27	第4セット 【 00:30 】	25	
	19	第5セット 【 00:21 】	17	

ポイント 【】 内はセット時間
- () 内は交代選手

デンソーエアリービーズ

監督：川北 元
コーチ：ゴンザレス アンドレ・クリストファー

通算： - 勝 - 敗
ポイント： -

<監督コメント>

コロナ禍での大会、多くのチームが出場できない異例のスタートとなったが、一つ一つの試合をチャレンジとして大切に戦ってきた。デンソーはセッターを中心としてオフェンスとタレントがそろったチーム。私達は粘り強く戦い、1点を重ねるチーム。リードする場面が多かったが、相手のオフェンスを絞ることが難しく、逆転されるセットもあった。最後は選手とスタッフが一体となり、フルセットの勝利となった。ファイナルでは今までお世話になった方々、応援してくださる方々へのご恩返しができるように頑張ります。大会運営に携わっている方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

<監督コメント>

今日はコロナ禍で大変な状況の中での大会になりましたが、開催にあたりご尽力頂いた方々に深く感謝します。ゲームは一進一退の攻防となりましたが、デンソーの強みである粘りから、リードされている展開からでも追いつくことが出来ました。全員の気持ちが一つになって戦えた試合になりましたが、来年以降に向けての課題も見つかった試合でもありました。今日の負けをリーグ戦での戦いに繋げていきます。

21	林	ドルーズ	第1セット	横田	鍋谷	25
	()	(柴田)		(森谷)	()	
	芥川	楠原		工藤	田代	
(目黒)	()	(福留)	()			
	靱井	田中		プラマー	奥村	
	(橋井)	()		()	()	

リベロ： 小幡 リベロ： 井上

25	林	ドルーズ	第2セット	横田	鍋谷	22
	()	(柴田)		(森谷)	()	
	芥川	小川		工藤	田代	
(目黒)	()	(松井)	(東谷)			
	靱井	田中		プラマー	奥村	
	(橋井)	()		(兵頭)	()	

リベロ： 小幡 リベロ： 井上

25	芥川	林	第3セット	横田	鍋谷	27
	(目黒)	()		(森谷)	()	
	靱井	ドルーズ		工藤	田代	
(橋井)	(柴田)	(東谷)	(松井)			
	田中	小川		プラマー	奥村	
	()	()		(中元)	()	

リベロ： 小幡 リベロ： 井上

27	林	ドルーズ	第4セット	鍋谷	田代	25
	(橋井)	()		()	(松井)	
	芥川	小川		横田	奥村	
()	(目黒)	(森谷)	()			
	靱井	田中		東谷	プラマー	
	()	(ヒックマン)		(工藤)	()	

リベロ： 小幡 リベロ： 井上

19	林	ドルーズ	第5セット	東谷	横田	17
	(橋井)	()		(工藤)	(森谷)	
	芥川	小川		プラマー	鍋谷	
(目黒)	(柴田)	()	(福留)			
	靱井	ヒックマン		奥村	松井	
	()	()		()	()	

リベロ： 小幡 リベロ： 井上

<要約レポート>

皇后杯準決勝第1試合、デンソーエアリービーズとJTマーヴェラスとの対戦。
第1セット、デンソーが、鍋谷、工藤の好レシーブからプラマーを中心に攻めれば、対するJTは芥川やドルーズがアタックを決めて点を重ね、中盤まで一進一退の攻防となる。中盤以降、工藤のブロックで波に乗ったデンソーがプラマーの活躍によりリードし、ドルーズのブロックや林のアタックなどで追撃するJTを抑え、セットを先取る。
第2セット、JTは、ドルーズのアタックや芥川のブロックなどで点を重ねて序盤にリードする。デンソーもプラマーや横田のアタックなどで追撃し、中盤には選手交代で自分たちのリズムを取り戻そうとするが及ばず、JTがセットを取り返す。
第3セット、自分たちのリズムを取り戻したいデンソーは、井上の好レシーブから、プラマーや鍋谷がアタックを決めてチームのムードを盛り上げていく。対するJTは、全員でボールを繋ぎ、林やドルーズがアタックを決めて序盤からリードする。中盤、田中のサービスエースで波に乗るJTに対し、粘り強く拾いチャンスを狙うデンソーは、東谷の力強いアタックで連続得点して追いつき、終盤は1点を争う激戦となる。最後は横田がアタックを決めてデンソーがセットを取り、王手をかけた。
第4セット、後がないJTは、林のブロックやドルーズのアタックなどで攻め、序盤からリードする。デンソーも東谷のブロックやプラマーのアタック、奥村の移動攻撃などで応戦し、中盤は一進一退の攻防となる。終盤も両チーム打ち合う接戦の中、最後は、ドルーズがアタックを決め、勝負は最終セットまでもつれ込んだ。
第5セット、JTは、ヒックマンがブロックにアタックにと活躍を見せ、序盤からリードしていく。対するデンソーも、横田やプラマーのアタックで応戦し追いつくと、鍋谷がアタックを決めて逆転する。終盤までもつれた戦いを最後はヒックマンがアタックを決めて制し、決勝進出を決めた。

作成者：高澤 利恵